



平成30年度

全日制課程 第70回
定時制課程 第47回

卒業証書授与式

平成31年3月1日

式次第

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 開式のことば | 6 卒業生を送ることば |
| 2 国 歌 | 7 卒業生別れのことば |
| 3 卒業証書授与 | 8 校 歌 斉 唱 |
| 4 校 長 式 辞 | 9 閉式のことば |
| 5 お祝いのことば | |

青森県立八戸工業高等学校

卒業式の知事のメッセージ

青森県知事 三 村 申 吾

御卒業おめでとうございます。

本日、晴れてこの佳き日を迎えられた卒業生の皆さんに、心からお祝い申し上げます。

それぞれの未来へ向けて、いま旅立とうとする皆さんの胸中には、在学中の様々な思い出が去来しているのではないのでしょうか。勉学に、スポーツに、そして文化活動に励み、学友と語りあった日々は、決して楽しいことばかりでなく、多くの困難もあったことでしょう。皆さんはそれらを乗り越えて、自らの力の限りを尽くすことの大事さ、人と人との心の触れ合いや絆の大切さ、そして真の友情の尊さを学ばれたことと思います。

明日から皆さんは、新生活への希望を胸に、別々の道へと歩み出します。社会人として実社会という大海原へと漕ぎ出される方、さらなる勉学を積まれる方など、選んだ道はそれぞれ異なりますが、この学び舎で得たたくさんのことを糧として、大きな夢と高い志を持って、一步一步前に進んでください。

皆さんの前には、時には困難なことが待ち受けているかもしれません。決してひるむことなく、創造力をもって積極果敢にチャレンジし、自らの歩む道を切り拓きましょう。

そして、これまで温かい愛情をもって皆さんを育ててくれた御家族や、情熱を注いで御指導くださった教職員の皆様をはじめ、お世話になった多くの方々への感謝の気持ちを胸に、これからの人生を歩んでください。

まもなく「平成」が終わり新たな時代を迎えようとする今、青森県民一人ひとりが誇りと生きがいを持ち、安んじて、そして輝いて生きられる社会の実現のためには、若い皆さんの力が必要です。皆さんは、未来の青森県を担う人の財、「人財」です。限りない可能性を持つ皆さんとともに、青森県の今と未来を築いていきたいと思えます。

「青い森」を由来として、その名に違わぬ美しさを今もなお守り続ける青森県は、私たちが世界に自慢できるふるさとです。卒業生の皆さんが、これからもふるさと青森を誇りとしながら、新しい時代を切り拓く「人財」として大きく羽ばたかれることを期待しています。皆さんの前途に輝かしい未来が開かれますことを祈念し、お祝いのことばといたします。

平成 31 年 3 月 1 日

(全日制)

卒業式によせる県議会議長メッセージ

青森県議会議長 熊谷雄一

皆さん、御卒業おめでとうございます。

本日ここに、3年間の確かな努力が実り、御卒業を迎えられた皆さんが、大いなる希望を抱いて、大学等へ、あるいは実社会へと旅立って行かれることは、誠に喜ばしく、県議会を代表して、心からお祝い申し上げます。

また、この日を迎えられるに当たり、皆さんはもとより、温かいまなざしで見守ってこられた御家族や、情熱をもって教育・指導に当たってこられた先生方の喜びもまたひとしおのことと思います。

今、皆さんは卒業式に臨んで、勉学や部活動等に励んだこと、様々な人々との出会いなど、学校生活での数々の場面を思い起こして、胸中さまざまな感慨が去来していると思います。

また、遙かなる前途に思いを馳せていることとも思いますが、おのおの進む道は異なっても、皆さんがこれまでの学校生活で培った知識や経験、また、育んできた友情は、新天地においても大いに役立つものと確信しております。

これからの長い人生において、多くの岐路に直面することと思いますが、自らの頑張り次第で未来はいくらでも変えることができます。どうか、夢を叶えるための努力を惜しまず、自分自身が納得のできる道をひたむきに歩んでください。

若々しく活力に満ち溢れた皆さんの益々の成長を期待するとともに、今後の御活躍と御多幸をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

平成31年3月1日

(定時制)

卒業式によせる県議会議長メッセージ

青森県議会議長 熊谷 雄一

皆さん、御卒業おめでとうございます。

本日ここに、蛍雪の功が実り、めでたく皆さんが御卒業を迎えられましたことは、誠に喜ばしく、県議会を代表して、心からお祝い申し上げます。

また、この日を迎えられるに当たり、皆さんはもとより、温かいまなざしで見守ってこられた御家族や、情熱をもって教育・指導に当たってこられた先生方の喜びもまたひとしおのことと思います。

皆さんの中には、様々な事情を抱えながらもそれを克服し、勉学に精励された方もいらっしゃると思います。ここに晴れて念願の御卒業を迎えられた御努力は、誠に尊いものがあり、深く敬意を表します。

これからは、これまでの経験とともに、高等学校で学んだ知識や育んだ友情を糧として、夢を叶えるための努力を惜しまず、自分自身が納得のできる道を邁進してください。

本日の御卒業を人生の大きな節目とし、大いなる夢と希望を抱いて旅立たれる皆さんのより一層の御活躍と御多幸をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

平成 31 年 3 月 1 日

お祝いの言葉

青森県教育委員会

君が辺り一面の吹雪に見舞われたとき
見上げれば梢には風雪に耐える固い蕾^{つぼみ}
春には枝一杯に花を咲かせるりんごのように
逆境に立ち向かう力は もう君自身の中にある

君が無限の静寂^{しじま}の中に閉ざされたとき
耳をすませばどこからともなく聞こえる心の声
幾星霜^{いくせいそう}寄せては返す潮騒^{しおさい}のように
不変の真理を究める力は もう君自身の中にある

君の瞳が未来への希望に輝くとき
隣にはいつも君を支える大切な人の笑顔
立ち止まっても振り返っても
後戻りのできぬ道 ただ前に向かって歩め

新しい時代に大きく羽ばたく若人よ
健やかであれ 幸いであれ
ふるさとの山も川も森も海も
いつまでも君を見守っている

平成 31 年 3 月 1 日

メッセージ

八戸市長

小林 真

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本日ここに高等学校校所定の課程を終えて、めでたく卒業の日を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

18年間大きな愛情で大切に育まれ、たくましく立派に成長されたお子様の晴れやかな姿を目の当たりにし、これまで温かく支えてこられた御家族や、熱心に御指導くださった先生方のお喜びもひとしおのことと存じます。

高校生活の3年間、皆さんは己の夢に向かい、勉強に運動に様々な活動に一生懸命努力を重ね成果を挙げました。卒業後は、社会人として実社会で活躍される方、進学してさらに勉学に励まれる方など、それぞれの道を選択しましたが、どんな進も、順風満帆ではなく、時には厳しい困難に出会うことでしょう。思い悩み、辛く苦しいときには、どうか共に励まし合ってきた仲間や愛し支えてくれる御家族、優しい先生方を思い出し、自信を持って着実に人生を切り拓いてほしいと願っております。

皆さんがこの学校で得た良識・知性・技術を礎に、更に研鑽を積まれ、郷土八戸を担い、大いに活躍されますことを期待しております。

皆さんの晴れの門出と希望に満ちた未来を心から祝福し、お祝いの言葉といたします。

平成31年3月1日

お祝いの言葉

青森県高等学校PTA連合会

会長 中村 美津緒

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さて、皆さんは、今日まで衣・食・住（勉強をする環境を含めて）すべて一人の力でやってきた訳ではないということは理解していると思います。両親をはじめ、多くの方々に助けられながら今日を迎える事ができたのです。

よく「恩を忘れるな」と言われますが、皆さんが忘れてはならない「恩」とは何でしょうか。それは生かされて来た皆さんの「命」を大事にしながら生きていくということだと思います。

本日、夢と希望を胸に元気よく母校を旅立つ皆さんの未来には、楽しい事、嬉しい事も沢山あるでしょう。しかし、それと同じくらい苦難も待ち構えていると思います。

どんなに笑顔で苦難を乗り越えようとしても、乗り越えられない状況、辛く苦しく逃げ出したいくなるような壁に直面した時は、誰かに甘えたって、泣いたって、逃げ出したっていいのです。けれども皆さんの最も尊い「命」だけは絶対に投げ出さないと約束して欲しいのです。

皆さんは、保護者の宝物なのです。

生きてさえいれば「チャンス」は必ず誰にでも平等に巡って来ます。目標を定めたなら、目の前にぶら下がったチャンスを捕らえて離さず、あきらめずにやり抜く人になって下さい。

これから先、皆さんの人生には、狭く入りにくい門もあり、そして苦しみや痛みを伴うこともあるのです。それが人生なのです。苦しみ、痛みがあればあるほどしっかりと大地に足を踏みしめ、そしてニッコリ笑って「エイ」と勇ましい声をあげ、人生の狭い扉を力強く押し開いて下さい。

その扉の奥には必ず「幸せ」が皆さんを待っているはずです。どんなに重く狭い扉でも必ず押し開け、通り抜ける力が皆さんにはあると私達は信じております。

保護者の皆様におかれましては今日までの子育てが大変なご苦勞があった事と思います。

晴れの日を迎えるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

結びに、卒業生を取り巻く全ての皆様に、心からの祝福を送り、そして輝く光が卒業生の未来を照らし続け、末永い幸せが訪れますことを祈念しお祝いの言葉といたします。

平成 31 年 3 月 1 日

お祝いのことば

青森県高等学校定時制通信制教育振興会

会長 相馬 鋁 一

本日、晴れの日を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまでの道のりを振り返ったとき、一人一人の胸に去来するものは、それぞれ異なることと思います。しかし、今日は、卒業に至るまで頑張ってきた自分自身に労いの言葉をかけてあげてください。そして、決して自分の力だけでこの日を迎えたわけではないということを肝に銘じ、これまで皆さんを支えてくれたご両親はじめご家族、先生方、そして友人に感謝の言葉を伝えてください。

さて、1989年からはじまった「平成」が、まもなく新しい時代へと移り変わろうとしています。人工知能やロボット、再生医療など、新たな科学技術の進展やグローバル化により大きく変化していく社会の中で、皆さんがそれぞれの力を遺憾なく発揮し、社会で大いに活躍することを期待しております。

皆さんの歩む道のりは、決して平坦ではないと思いますが、家族や仲間との絆を大切に、「勁草」（風雪に耐える勁（つよ）い草）の如く、たくましく、へこたれず、強い心を持ち、自分の夢を叶える努力を惜しむことなく続けていって欲しいと願っています。

卒業… それは、学校の全課程を学び「終えること」と同時に、新たな「スタート」をきることでもあります。

皆さんの前途に幸多きことを祈念し、応援しています。

平成31年3月1日

特別賞受賞者名簿

校長賞
【全日制課程】土木建築科 増田 佳乃子 【定時制課程】工業技術科 中川原 和 真

産業教育振興中央会会長賞
【全日制課程】電気科 小堀内 伸 樹 【定時制課程】工業技術科 境 悠 真

青森県高等学校PTA連合会会長賞
【全日制課程】機械科 大坂 奈菜穂 電子科 宮田 恭 輔
土木建築科 前川 聖樹 情報技術科 四戸 輝平
電気科 谷風 心晴 電子機械科 久保 宏
材料技術科 鈴木 玲 弥

全国高等学校定時制通信制教育振興会会長賞
【定時制課程】工業技術科 中川原 和 真

青森県高等学校定時制通信制教育振興会会長賞
【定時制課程】工業技術科 山口 聖 龍

青森県三八地区高等学校定時制通信制教育振興会会長賞
【定時制課程】工業技術科 秋山 悠 真 工業技術科 中村 竜 志

職業資格・検定優秀卒業生
【全日制課程】機械科 中山 光太朗 電子科 田中 尚 汰
土木建築科 川崎 愛未 情報技術科 柳沢 元海 就斗
電気科 夏堀 広陸 電子機械科 村中 海斗
材料技術科 永澤 夏音 【定時制課程】工業技術科 佐藤 龍 太

東日本高等学校土木教育研究会会長賞
【全日制課程】土木建築科 松原 涼

東日本高等学校建築教育研究会会長賞
【全日制課程】土木建築科 三田村 和

全国材料技術教育研究会優秀生徒表彰
【全日制課程】材料技術科 長谷部 愛 香

全国情報技術教育研究会生徒表彰
【全日制課程】情報技術科 淵 沢 林 汰郎

【全日制課程】
三ヶ年皆勤賞
〔機械科〕
大坂 奈菜穂
葛西 拓人
神子澤 亮太
佐藤 竜一
高野 颯直
田岡 直樹
千野 葉祐豪
西橋 村本
石橋 正博
高松 長武
鈴木 春樹
鈴田 木代
前川 奈聖
〔電気科〕
赤坂 哉斗
石上 野一
久保 智輝
〔材料技術科〕
織田 浩次
黒藤 悠涼
鈴前 木村

〔電子科〕
天悠 音希
木内 大恭
澤田 大恭
〔情報技術科〕
中村 翔
和井田 太衛
荒屋敷 堯
一ノ渡 堯海
大塚 聖平
久田 中哉
津内 川真
七十 刈啓
宮村 中斗
山 上向
過 足太
渡 辺 太
生徒会特別功勞賞
木村 凛
生徒会功勞賞
佐々木 綾乃
永澤 夏音

松武 長石
加藤 藤
赤坂 坂
三田 村
泉野 山
東村 村
神志 高
志新 井
高井 卷
新井 藤
豊津 内
佐津 口
夏内 坂
及上 川
久木 田
杉々 山
佐堀 木
田山 内
新田 村
西新 上
差田 町
熊波 塚
小野 野
松田 井

春一 樹
龍真 真
優倭 倭
凌雄 夢
陸雄 斗
元武 貴
沙武 輔
大要 治
誠真 迅
祐真 文
貴太 裕
涼吾 樹
圭菜 侑
悠美 向
夕美 和
翔大 斗
集也 吾
竜恵 一
太恭 介
諒

岡田 聖祐
松神 柁
吉長 勢
新長 勢
織工 愛
石川 浩
山玉 虹
山玉 楓
玉佐 愛
佐々 桜
坂 直
生徒会努力賞
館下 柳
田鈴 裕
柳中 尚
町木 玲
澤谷 涼
山木 亮
上木 優
田上 朋
増村 拓
寺見 篤
子 佳
乃 大
貴 一
維 乃

宮田 恭
金石 濱
石山 橋
田内 正
恭雪 明
田濱 正
山田 健
田健 太

【定時制課程】
生徒会功勞賞
山田 健 太

平成30年度卒業生の進路先 全日制

【県内企業】 59名

JA 全農北日本くみあい飼料(株)八戸工場	
MCC ユニテック(株)	
朝日インテック(株)	3名
アルバック東北(株)	4名
アンデス電気(株)	2名
(株)石上建設	
石田建設(株)	
エプソンアトミックス(株)	3名
エム・ピー・エム王子ホームプロダクツ(株)	3名
エム・ピー・エム・オペレーション(株)	
(株)大泉製作所 十和田工場	
大蔵工業(株)	2名
(株)河原木電業	2名
(株)共同電算センター	
高周波铸造(株)	4名
興陽電設(株)	
(株)サン・コンピュータ	
(株)サンライズエンジニアリング	2名
JX エルエヌジーサービス(株)	
(株)下館組	
住友電工電子ワイヤー(株)	
大平洋金属(株)	
多摩川モバイル電装(株)	
寺下建設(株)	
東京鉄鋼(株) 八戸工場	
東北飼料(株)	
東北三吉工業(株)	
東北容器工業(株)	
南部電機(株)	
ニッコーテクノ(株)	
日本原燃(株)	
八戸液化ガス(株)	
八戸鉱山(株)	3名
八戸港湾運送(株)	
八戸製錬(株)八戸製錬所	3名
八戸セメント(株)	
三菱製紙エンジニアリング(株)	2名
(株)ユニバース	

【県外企業】 98名

ABC システム(株)	2名
AGC (株)千葉工場	
JFE スチール(株)東日本製鉄所	3名
JXTG エネルギー(株)川崎製造所	
(株)NTT 東日本 東北	2名
(株)NTT 東日本 南関東	
アイダエンジニアリング(株)	
曙ブレーキ岩槻製造(株)	
(株)浅沼組 東京本店	
旭化成(株)製造統括本部 川崎製造所	
(株)アルウィン	
NEC フィールドディング(株)	

(株)沖電気カスタマアドテック	
小田急電鉄(株)	
鹿島クレス(株)東日本支社	
(株)片山組	
キヤノン電子(株)秩父事業所	
(株)きんでん	
クミアイ化学工業(株)静岡工場	
京王電鉄(株)	2名
京浜急行電鉄(株)	
(株)コアテクノス	
(株)コベルコマテリアル銅管 秦野工場	
三興製鋼(株)	
(株)ジーテクト本社	
(株)シミズオクト	
昭和電線ケーブルシステム(株)	
新日鐵住金(株)君津製鐵所	2名
新日本無線(株)	2名
住友ゴム工業(株)白河工場	
住友重機械工業(株)田無製造所	
住友電気工業(株)横浜製作所	
住友林業ホームエンジニアリング(株)	
仙建工業(株)	
綜研化学(株)狭山事業所	
大成ロテック(株)	
大陽日酸(株)	
大陽日酸エンジニアリング(株)東北支店	
中部電力(株)	
(株)椿本チエイン 埼玉工場	
鉄建建設(株)	
東京システム特機(株)	
東京水道サービス(株)	
東京地下鉄(株) (東京メトロ)	2名
東京パワーテクノロジ(株)	
東芝自動機器システムサービス(株)	
東北電力(株)	3名
東北発電工業(株)	
東洋製罐(株)久喜工場	2名
トヨタ自動車(株)	2名
日油(株)川崎事業所	
日産自動車(株)	2名
日鉄住金 SG ワイヤ(株)	
日鉄住金テックスエンジ(株)君津支店	
日本精工(株)技術センター	2名
日本発条(株)	
日本原子力防護システム(株)	
ハイウェイ・ツール・システム(株)	
東日本旅客鉄道(株)	
(株)日立産機システム 本社	
(株)日立システムズフィールドサービス	
(株)ファイブ・デザイナー	
藤井電機(株)大阪本社	2名
不二建設(株)	
富士石油(株) 袖ヶ浦製油所	

プライムアース EV エナジー(株)
 北海道旅客鉄道(株)
 ポラスハウジング千葉(株)
 本田技研工業(株)パワートレユニット製造部
 (株)松下産業
 (株)丸和運輸機関
 三井化学(株)市原工場
 三菱ケミカル(株)鹿島事業所
 三菱電機ビルテクノサービス(株)東北支社 2名
 村山鋼材(株)
 (株)明電舎
 (株)薬王堂
 (株)ユアテック
 横浜ゴム(株)三島工場
 (株)淀川製鋼所市川工場
 理想科学工業(株)
 (株)ロッテ

【公務員】 9名

国土交通省 関東運輸局
 海上自衛隊 航空学生
 海上自衛隊 一般曹候補生 2名
 陸上自衛隊 一般曹候補生
 青森県 警察官 B
 八戸市 一般職(事務)
 八戸市 一般職(技術)
 南部町 一般行政事務(技術)

【国公立大学】 4名

北見工業大学 地域未来デザイン学科 2名
 弘前大学 教育学部 特別支援教育専攻
 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部

【私立大学】 46名

八戸工業大学 工学部 機械工学科 15名
 八戸工業大学 工学部 システム情報工学科 5名
 八戸工業大学 工学部 土木建築工学科 5名
 八戸工業大学 工学部 電気電子工学科
 八戸工業大学 工学部 生命環境科学科
 八戸工業大学 感性デザイン学部 創生デザイン学科
 八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 2名
 八戸学院大学 健康医療学部 看護学科
 北海道科学大学 工学部 機械工学科
 青森中央学院大学 看護学部 看護学科
 東北工業大学 工学部 電気電子工学科
 東北学院大学 工学部 電気電子工学科 2名
 東北学院大学 工学部 情報基盤工学科

東北学院大学 工学部 機械知能学科
 東北学院大学 経営学部 経営学科
 石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科
 千葉工業大学 工学部 電気電子工学科
 拓殖大学 工学部 電子システム工学科
 大東文化大学 経営学部 社会経営学科
 城西国際大学 経営情報学部 総合経営学科
 金沢工業大学 工学部 ロボティクス学科
 日本工業大学 建築学部 建築学科

【短期大学】 5名

八戸学院短期大学 幼児保育学科 2名
 弘前医療福祉大学短期大学部 救急救命学科 2名
 岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科

【国立高専】 2名

八戸工業高等専門学校
 機械システムデザインコース
 八戸工業高等専門学校
 環境都市・建築デザインコース

【能力開発校】 3名

八戸工科学院 自動車システム工学科 2名
 東北職業能力開発大学校 電気エネルギー制御科

【専修学校】 14名

八戸理容美容専門学校 美容科
 八戸保健医療専門学校 スポーツ柔整学科
 東北メディカル学院 理学療法学科
 東北電子専門学校 映像放送科
 東北文化学園専門学校 建築土木科
 日本工学院八王子専門学校 声優・演劇科
 HAL 東京 ゲーム学科
 東京サイクルデザイン専門学校
 仙台医健・スポーツ&こども専門学校 理学療法科
 仙台工科専門学校 環境土木工学科
 宮城調理製菓専門学校 上級調理技術科 日本料理
 宮城調理製菓専門学校 総合調理コース
 仙台医療秘書福祉専門学校
 くすりアドバイザー科
 東京 IT 会計専門学校 仙台校

平成 30 年度卒業生の進路先 定時制

【県内企業】 3名

(株)共同電算センター
 (株)ディメール
 (株)ユニバース

【国公立大学】 1名

青森公立大学 経営経済学部 経済学科

【能力開発校】 1名

八戸工科学院 自動車システム工学科